

研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Yoshikazu Matsuda, Hisao Haniu, Tamotsu Tsukahara, Toshio Inoue, Ken-ichi Sako, Takeshi Kawamura, Kazuo Sugita, Tomoko Mabuchi, Takeshi Uemura, and Kazusaburo Sato : Effect of Porcine Liver Decomposition Product (PLDP) on human cognitive function. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*. In press
- 2) 藤原邦彦, 松浦誠, 千葉健史, 佐古兼一, 藤澤美穂, 前田智司, 日本薬科大学における薬学長期実務実習でのストレス調査, *薬学教育*, 1, 1-12 (2017) .
- 3) 松田佳和, 羽二生久夫, 塚原完, 井上俊夫, 佐古兼一, 杉田和夫, 馬淵知子, 江水保, 佐藤和三郎, プタ肝臓分解物のヒト認知機能改善効果, *医学と薬学*, 73(8), 1-10(2016).
- 4) 中村有貴, 中島孝則, 岩田政則, 林祥弘, 高山幸三, 齋藤博, 佐古兼一, 松田佳和, 木村正幸, 直接的レニン阻害剤ラジレス®錠の物理薬剤学的特性に対する温度と湿度の影響, *YAKUGAKU ZASSHI/YAKUGAKU ZASSHI*, 134(4), 555-561(2014).
- 5) 河村剛至, 橋本久邦, 有富桂子, 中島孝則, 佐古兼一, 岩田政則, 松田佳和, POSに基づく薬剤管理指導と服薬指導の実務実習での学生の習得度とこれに影響する要因の検討, *日本 POS 医療学会雑誌*, 19(1), 136-141(2015).

[総説]

- 1) 佐古兼一, トブラマイシン母集団薬物動態モデルの評価を経て臨床適用の可能性を探る. *ファルマシア*, **53(1)**, 67 (2017).

[著書]

- 1) 小林賢, 熊倉隆二, 岩崎祐一, 上田晴久, 佐古兼一, わかりやすい薬学系の数学演習, 講談社, (2017).
- 2) 小林賢, 佐古兼一, 井上俊夫, 岩崎祐一, 加藤剛, 熊倉隆二, わかりやすい薬学系の統計学入門, 講談社, (2015).
- 3) 池田敏彦, 弓田長彦, 佐古兼一, 基礎からの薬物動態学, みみずく舎, (2015).
- 4) 竹内正弘, 山村重雄, 細川友和, 佐古兼一, 薬学のための医療統計学, 廣川書店, (2014).
- 5) 九川文彦, 佐古兼一, 徹底解説 薬物動態の数学—微積分と対数、非線形, 廣川書店, (2013).

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) Ken-ichi Sako, Nozomi Yoshikawa, Naoto Hashimoto, Yoshihiko Matsuki, Kazuro Ikawa, Norifumi Morikawa, Yoshikazu Matsuda. External evaluation of amikacin population pharmacokinetic models in Japanese adult patients 15th International Congress of Therapeutic Drug Monitoring & Clinical Toxicology, Kyoto(2017)

[国内学会]

- 1) 山口史絵, 橋本直人, 佐古兼一, 鈴木萌子, 諏訪淳一, 石原溶子, 松田佳和, 新生児のバンコマシククリアランスに影響を及ぼす共変量の検討, 日本薬学会第 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).

- 2) 駒井信子, 渡邊好造, 石井幸雄, 竹迫直樹, 西村富啓, 佐古兼一, 当院血液内科におけるバンコマイシン血中濃度低下の要因分析, 第 34 回日本 TDM 学会学術大会 5 月, 京都 (2017).
- 3) 鈴木萌子, 佐古兼一, 松田佳和, 笠井英史, 母集団解析のための試験デザイン検討ツールの開発, 第 35 回日本 TDM 学会学術大会 5 月, 京都 (2017).
- 4) 佐古兼一, 鈴木萌子, 松田佳和, 笠井英史, Clinical Pharmacometrics 解析における実践的諸問題母集団薬物動態・薬力学(PopPK-PD)解析における試験デザイン シミュレーションに基づく検討方法, 第 34 回日本 TDM 学会学術大会 5 月, 京都 (2017).
- 5) 鶴澤友里合, 佐古兼一, 三浦聡至, 清水裕, 織本桂, 矢吹直寛, 矢嶋美樹, 河村剛至, 松田佳和, BMs-Pod を用いたメロペネムにおける菌種別至適投与量の考察, 第 33 回日本 TDM 学会学術大会 5 月, 宇都宮 (2016).
- 6) 吉野のぞみ, 柘植昂太, 橋本直人, 佐古兼一, 松木祥彦, 大貫敏明, 矢島美樹, 河村剛至, 松田佳和, ジゴキシン母集団薬物動態モデルの適用性評価に関する検証, 日本薬学会第 135 年会, 3 月, 神戸 (2015)
- 7) 橋本直人, 佐古兼一, 本波 茉耶香, 織本桂, 矢吹直寛, 矢嶋美樹, 河村剛至, 松田佳和, バンコマイシンの PK-PD パラメータ目標値と各種母集団薬物動態モデルへの適用に関する検討, 第 32 回日本 TDM 学会学術大会 5 月, 松本 (2015).
- 8) 柘植昂太, 佐古兼一, 喜古康博, 篠原嘉篤, 橋本直人, 三浦聡至, 河村剛至, 松田佳和, PMDA からの医薬品適正使用のお願い No.7「炭酸リチウム投与中の血中濃度測定遵守について」への対応を考慮した母集団薬物動態モデルの活用に関する臨床薬理的検討, 第 32 回日本 TDM 学会学術大会 5 月, 松本 (2015).
- 9) 臼井沙織, 佐古兼一, 松木祥彦, 嶋野仁, 柘植昂太, 佐々木有紀子, 上田恵子, 町田充, 矢吹直寛, 矢嶋美樹, 河村剛至, 松田佳和, 既報アルベカシン母集団薬物動態モデルの汎用性と適正使用に向けた新規モデルの提案, 第 31 回日本 TDM 学会学術大会 5 月, 東京 (2014).
- 10) 橋本直人, 佐古兼一, 嶋野仁, 小林理栄, 新井亘, 増田裕一, 町田充, 矢吹直寛, 矢嶋美樹, 柘植昂太, 臼井沙織, 藤倉弘樹, 河村剛至, 松田佳和, MRSA 感染症におけるバンコマイシン母集団薬物動態解析(第 2 報), 第 31 回日本 TDM 学会学術大会 5 月, 東京 (2014).
- 11) 柘植昂太, 佐古兼一, 町田充, 上田恵子, 山田新, 小林理栄, 新井亘, 橋本直人, 矢嶋美樹, 河村剛至, 松田佳和, 高齢者におけるゾニサミド母集団薬物動態モデルの構築, 第 35 回日本臨床薬理学会学術総会, 11 月, 愛媛 (2014)

3. その他特筆すべき研究業績

II. 教育業績

1. 担当授業科目

2017 年度医療統計学 (4 年)

2017 年度薬物送達学 (3 年)

2017 年度実務実習事前学習 (4 年)

2017 年度薬学総合演習 1 (4 年) 4 コマ

2017 年度薬学総合演習 2 (6 年) 4 コマ

2016 年度医療統計学 (4 年)

2016年度薬物動態学（3年）
2016年度実務実習事前学習（4年）
2016年度薬学総合演習1（4年）4コマ
2016年度薬学総合演習2（6年）4コマ
2015年度医療統計学（4年）
2015年度実務実習事前学習（4年）
2015年度薬学総合演習1（4年）4コマ
2015年度薬学総合演習2（6年）4コマ
2014年度医療統計学（4年）
2014年度実務実習事前学習（4年）
2014年度薬学総合演習1（4年）4コマ
2014年度薬学総合演習2（6年）4コマ

2. その他特筆すべき教育業績